三木市特定教育·保育施設評価 評価結果報告書 (平成29年度)

園名 (三木幼稚園)

	評価基準	評価内容
	心の育ちを優先し、 生きる力の基礎を育 む教育・保育	○子どもたちの生活について、その主体性を
I		十分発揮できるような環境が整えられている。 〇環境としては園庭を十分に活用することが できており、環境を通して行う保育が実現 されている。
п	異年齢集団での遊び や生活を通して社会 性を培う教育・保育	○担任だけでなく、どの年齢の支援担当の教諭も、園の方針や子どもの理解に関する共通理解ができており、園として一体となった保育を行っている。○一人ひとりの幼児に対する理解を園全体で深めており、その結果として質の高い保育が担保されている。
Ш	自尊感情を育むとと もに豊かな人権感覚 を養う教育・保育	○自由に遊ぶ時間が十分に確保され、人と関わり合っての活動が十分にできている。 ○特別な支援の必要な子どもたちも、安心・安定した状態で園生活を送っている。子どもたちが自分たちで考え、協力し合いながら行事などに取り組むことができている。
IV	小学校との連携	○保幼小中の連絡会が学期ごとに開催されている。○小学生の来訪や音楽会、合同運動会、就学前児童交流会、三木っ子祭りなどで交流の機会を設けている。
V	教育・保育の内容の 保護者への説明	○一日入園や入園説明会の機会に、保護者向け説明資料をパワーポイントを用いてわかりやすく説明している。○毎学期行われる個人懇談会、発表会や参観日のあいさつの際、家庭教育学級の前に説明を行っている。

VI	職員の資質向上のた めの取組	○園内研修、園外研修、外部講師による指導 助言、職員会議のほか、市立教育センター 研究員制度も活用して職員の資質向上に努 めている。
VII	安全管理	○計画的に防災訓練を実施している。○設備面での安全チェックを毎月実施し、危険個所についてはヒヤリハット事例として職員会議で検討し、園日誌に記録している。
VIII	地域の子育て拠点としての取組	○園庭開放、ニコニコ広場など地域の子ども (未就園児)と保護者が来訪して交流する機 会を設けている。
IX	地域において子育て 支援を行う団体との 連携	○発達支援センター、市健康増進課、民生児 童委員、ボランティア団体、老人会、デイ サービスセンターなどと交流の機会を持ち 地域の団体と連携している。